

教科	自立活動	単元名	体づくり運動（フラフープ）
----	------	-----	---------------

本時のねらい

聴覚的・視覚的に見通しをもたせることで、まとめのふりかえりができるようになる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・ロイロノートのアンケート機能を活用することによって、本時の自分の取り組みを意識させ、ふりかえりに答えられることをねらった。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・授業支援アプリ（ロイロノート）
- ・タブレット PC（iPad）
- ・プロジェクター
- ・大型スクリーン
- ・プレゼンテーションソフト（Keynote）
- ・『ビジョントレーニング・ワークブック』（北出勝也 ナツメ社）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○この時間の予定（ビジョントレーニング→フラフープゲーム→ふりかえり）を知る。	・学習の見通しをもたせるために、この時間の最後にふりかえりアンケート(ロイロノート)に答えることを伝える。大型スクリーンに質問項目を映し出し、視覚的にも情報が入るようにする。
展開 (25分)	○ビジョントレーニングをする。 次々と映し出される矢印の方向を見て、児童が矢印の方向にジャンプをする。 ○フラフープゲームをする。 フラフープゲーム…紐（5m程）を結んだフラフープを投げて、散りばめられたボールを引き寄せて、集めたボールの数を競うゲーム	・大型スクリーンに Keynote で作成した画像を映し、全員が見られるようにする。
まとめ (10分)	○ロイロノートのアンケート機能を使い、ふりかえりアンケートに答える。 アンケート質問項目 ①たくさん運動をしましたか。（運動した・まあまあ運動した・あまり運動しなかった・運動しなかった） ②友だちにルールやポイントを教えましたか。（教えた・教えたかったけど、言えなかった・言い方が分からなかった・教えなかった） ③また、やりたいと思いましたか。（またやりたい・どっちでも・やりたくない）	・アンケートは項目の選択方式によって、本時の自分の取り組みに当てはまるものを選ぶようにさせる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：ビジョントレーニングをしている場面



写真2：タブレット（ロイロノートのアンケート）を使い、ふりかえりアンケートに答えている場面



写真3：先生と対話しながらふりかえりしている場面

児童生徒の反応や変容

- ・授業の最初に、聴覚や視覚的に見通しを示すことで、ふりかえりに対する困り感が少なくなることが分かった。
- ・ロイロノートのアンケートを用いたふりかえりは、自分の考えに合うものを選択するため、抵抗感がなく取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

「最後に○○するよ」と授業の最初に説明があると、それを意識して活動することができるのでいいと思った。視覚的に情報を伝えることで、視覚優位で情報をインプットできる児童には有効である。アンケート形式でのふりかえりをするときには、ただ選択して終わるのではなく、問い返すことが大事である。自分の考えや活動を可視化するために、アンケート機能を活用することや指導者による見本動画を視聴させることがとても有効であった。